

## 1 目的

枕崎市大塚地区は60年の歴史を持つ電照ギクの産地であるが、近年は病害虫の薬剤感受性低下や連作による土壌性質の悪化等により、秀品率や商品化率の低下が深刻な問題となっている。そこで、プロジェクト活動としてそれらの解決に取り組み、今後の産地活性化へつなげる。

## 2 実施状況

### (1) キク産地が抱える生産技術対策プロジェクト活動の実施

会員個人や地域が抱える7課題を設定してプロジェクト活動を展開し、以下の4課題について実績を取りまとめて、会員で相互検討を行い、技術向上を図ることができた。

ア 低コスト栽培が可能な新品種「弓戸の恒」導入による生産性向上

イ 湿度制御によるキク白さび病の防除技術検討

ウ 土壌化学性悪化ほ場の改善方策の検討

エ 付加価値を付けた新たなキク類の導入検討

### (2) プロジェクト課題に関する研修会の実施

以下の研修会を開催し、プロジェクト活動実施に向けた情報収集や会員の資質向上を図ることができた。

ア キク白さび病防除研修会

イ 健全な土づくり研修会

ウ 輪ギク大規模経営における経営管理研修会

エ 施設内環境と光合成の促進研修会

オ 輪ギク市場の情勢と今後の展望研修会

### (3) 先進地研修等による情報収集

ア 愛知県渥美半島への先進地研修

最新技術の研修及び若手生産者との交流により、技術向上につながる有益な情報収集ができた。

イ 実需者が求める「輪ギク」情報収集研修

葬儀需要に求められる輪ギク品質等について、今後の生産に向け有益な情報が得られた。

## 3 今後の課題、取り組み

(1) 産地の課題解決に向けたプロジェクト活動の継続実施

(2) プロジェクト活動成果の地域への波及

(3) 更なる研究会活動の活性化と会員の資質向上



写真1 プロジェクト現地検討会



写真2 プロジェクト活動実績検討会



写真3 葬儀用スタンド花作成現場視察